

授業科目名・形態	精神保健福祉制度論Ⅱ 講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
科目担当者氏名	古川 博文	実務経験の有無	有	開講期	3年前期

【授業の主題】

当科目は精神保健福祉士に求められる諸制度の基礎知識を身につけ、制度の目的やその意義を理解するものです。精神保健福祉制度論Ⅰに引き続き、精神保健福祉士が相談援助活動を展開する上で不可欠となる精神保健福祉に関する制度とサービスについて学びます。

【到達目標】

- (1) 精神障害者に関連する社会保障制度の概要及び相談援助に係わる施設、団体、機関などについて説明できるようになる。
- (2) 更生保護制度の概要について説明できるようになる。
- (3) 医療観察制度の概要について説明できるようになる。
- (4) 社会調査、量的調査法と質的調査法の違いと活用について説明できるようになる。

【授業計画・内容】

- 第1回 オリエンテーション（シラバスの説明） 社会保障制度とは
- 第2回 精神障害者に関連する社会保障制度の概要(1)
- 第3回 精神障害者に関連する社会保障制度の概要(2)
- 第4回 精神障害者に関連する社会保障制度の概要(3)
- 第5回 精神障害者に関連する社会保障制度の概要(4)
- 第6回 相談援助にかかわる組織、団体、関係機関および専門職や地域の支援者(1)
- 第7回 相談援助にかかわる組織、団体、関係機関および専門職や地域の支援者(2)
- 第8回 更生保護制度の概要と精神保健福祉との関係(1)
- 第9回 更生保護制度の概要と精神保健福祉との関係(2)
- 第10回 医療観察法の概要と実際(1)
- 第11回 医療観察法の概要と実際(2)
- 第12回 医療観察法の概要と実際(3)
- 第13回 社会資源の調整・開発にかかわる社会調査(1)
- 第14回 社会資源の調整・開発にかかわる社会調査(2)
- 第15回 社会資源の調整・開発にかかわる社会調査(3)

【授業実施方法】

講義形式。本授業はコンピュータやプロジェクタを用いて、視聴覚プレゼンテーションの形式（スライド、映像等）で行います。また、学生の授業への積極的な参加を目的としてグループワーク、ディスカッション、プレゼンテーションを実施します。

【授業準備】

精神保健福祉士国家試験必須科目です、授業計画で指定したテキストの範囲を事前に読んでおいてください。

【主な関連する科目】

精神保健福祉援助技術各論ⅠⅡ、精神保健の課題と支援ⅠⅡ、精神科ソーシャルワーク論

【教科書等】

日本ソーシャルワーク教育学校連盟（編）『新・精神保健福祉士養成講座6 精神保健福祉に関する制度とサービス』中央法規

【参考文献】

特にありません。テキスト以外で必要なものは授業で紹介します。

【成績評価方法】

成績評価は試験（70%）、レポート提出や授業への取り組み姿勢（30%）で総合的に評価します。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

私は福祉施設でソーシャルワーカー（社会福祉士7年・精神保健福祉士6年）として、利用者、その家族、支援者等への相談業務を経験しています。授業を通して社会福祉学の基本知識だけでなく、実務経験から得たソーシャルワーカーとしての知識・技術・価値を統合する能力についても高めていきたいと考えています。

【学生へのメッセージ】

履修学生は予習と復習を行うことで科目の理解度を深めてください。また、配付資料は復習・テスト対策に活用できるように保管しておいてください。精神保健福祉制度論Ⅰと精神保健福祉制度論Ⅱの科目は同じテキストを使用します。